

保護者各位

## 「自己評価のご報告」

日頃より保育園の運営にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。大切なお子さまの成長を近くで見守らせていただけたこと、とても嬉しく思います。卒園・進級・転園の時期が近づきなんとなくソワソワしてしまう今日この頃。残りの日々も、楽しく元気いっばいに過ごしていけたらと思います。

さて、先日はお忙しいなかアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。集計ができましたので、まず「保護者アンケート結果」、次に「社員自己評価まとめ」、最後に「園としての自己評価」をさせていただきます、ここにご報告申し上げます。

### 1. 保護者アンケート結果に関して

#### 「保護者アンケート結果」アルタベビー田無園

回答率：67%

No	質問項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
1	当社の保育理念・保育目標について理解していますか	67%	25%	8%
2	当社社員はお子さんの気持ちを大切にしていると感じますか	100%	0%	0%
3	当社社員の言葉遣いや態度、服装等は適切ですか	100%	0%	0%
4	保育園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	100%	0%	0%
5	安全対策や感染症対策が十分取られていると思いますか	83%	8%	8%
6	お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなったとき、当社社員の対応は信頼できますか	100%	0%	0%
7	園で提供される食事・おやつはお子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	92%	8%	0%
8	不満に思ったことや要望を伝えたとき、当社社員はきちんと対応してくれていると思いますか	92%	8%	0%
9	当園に満足されていますか	100%	0%	0%

#### ・項目 1 当社の保育理念・保育目標について理解していますか

約7割の方にご理解をいただいておりますが、反面約3割の方に届いていないという現状がわかりました。保育理念や保育目標は保育の軸となるもので、保育者はそちらを軸に保育計画を立て年齢や子どもの成長に合わせた保育を展開できるよう努めております。今後、

保護者会や園だより等で保護者の皆さまにしっかり届くよう工夫してまいります。保護者の皆さまも、気になる点等ありましたらいつでもお声掛けください。

・項目5 安全対策や感染症対策が十分取られていると思いますか

今年度はインフルエンザが園内で流行し保護者の皆さまにはご心配・ご迷惑をおかけいたしました。感染症はいつ・誰が感染するかわからないものではあります。感染拡大に繋がらないよう対策してまいります。ワンフロアでなかなか換気がままならないこともあり、保護者の方には対策としてご不安を感じられていると思います。時間を決めながら子どもたちの安全に配慮しつつ、換気も行なっていけたらと考えております。また、安全対策として日々の避難訓練や不審者訓練等を行い、有事の際には迅速かつ適切な対応が出来るよう、気を引き締めてまいります。保護者の皆さまも、何か不安な点や気になること等がございましたらいつでもお声掛けください。

・項目7 園で提供される食事・おやつはお子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか

約9割の方から給食やおやつの提供についてご満足いただけていると回答をいただき嬉しく思います。どちらともいえないという回答もございましたので、引き続き子どもたちの栄養を考えつつ、行事や彩り等も踏まえた食事が提供できるよう栄養士や調理師と相談してまいります。

・項目8 不満に思ったことや要望を伝えたとき、当社社員はきちんと対応してくれていると思いますか

約9割の方から保育者の対応について評価をいただけているとの回答に嬉しく思います。保護者の方の気持ちに寄り添い、また、迅速な対応ができるよう今後も努めてまいります。

・項目9 当園に満足されていますか

ご回答いただいた全ての保護者の方にご満足いただけているとのこと、大変嬉しく思います。保育者の対応や園の雰囲気をご気に入ってくださり、様々なメッセージをいただけることが私たちにとって励みとなっております。変えられない部分に関しましては心苦しい所ではございますが、今後も保護者の皆様方やお子さんの気持ちに寄り添った保育をしていけるよう日々努めてまいります。

◇当園へのメッセージ、ご意見

- ・園での様子を連絡帳で教えてもらえて嬉しい。親が見ていない部分で急成長を感じられるのは園での生活のおかげ。

- ・子どもがぐずってしまったときもしっかり向き合って対応してもらえて助かる。
- ・毎日しっかり様子を伝えてくれる。
- ・子どもたちの可愛い写真と一日の様子を細かく伝えてくれる。行事を大切にしてくれている。
- ・毎日一生懸命園児に接してくれている。優しい声掛けをしてくれている印象。
- ・園内の換気をもう少し行なって欲しい。
- ・園庭もなくお部屋も広くはないが、その環境でも工夫してくれている。子どもは保育園を大好きで楽しく通っているので感謝している。
- ・こんなに小さいうちから預けて働く事を申し訳なく思っていた。すくすく成長する姿に先生たちのおかげだと感謝する日々。

## 2. 社員自己評価に関して

### ・当社姿勢目標の順守に関して

#### ① 進取の精神と自学の姿勢について

- ・困難なことに自ら取り組んでいる

業務に関することに疑問がある場合はすぐに質問をすることで、スムーズに業務を身に付けることができた。

- ・自らのために進んで学ぶ姿勢について

人に聞くは時間を奪う行為ではあるが、より保育者同士のコミュニケーションを深めることや共通認識を把握するためにもあえて聞くことに取り組んだ。それをすることで、より保育者間での情報共有しやすい人間関係を築くことができた。

#### ② 得意分野の深化について

- ・自分ならではの強みとは何かを今一度考え直す良い機会となった。

自分が何を得意としているのか、どんなことが強みであるのかを知るためにも日々の業務に全力で取り組むことで見えてくると考えている為、現在は課題把握中である。

#### ③ 報連相の徹底について

- ・メモを取ることは以前から習慣としている。また話をするときには結論から話すことも徹底している。そして簡潔に誰でもわかるように伝える為には日々のコミュニケーションや読書などを通じて様々な言葉を身に付ける必要があると考えており、読書をすることや簡単な言葉で伝えるよう心がけている。

#### ④ 安心、安全な労働環境の確保と規律の順守について

- ・5Sについては社員間で取り組んでいることは異なることもあるが、一人ひとりが意識して業務に取り組んでいると考えられる。今後は職員全員が統一することができる

よう共有していく。

- ・挨拶や言葉遣いはとても丁寧であるとともに、意識していると感じている。当たり前ではあるが、今後もより丁寧かつ正しい言葉づかいをすることができるよう研鑽する。
- ・休憩の取り方については、保育園に休憩室はなく、子どもが午睡をしている隣で休憩を取っているが、子どもが泣きだした際や保護者対応があると休憩中の保育者が対応すること、休憩時間を削っているのが現状である。ある環境でどのように工夫をするか考える必要（社員配置や時間の調整など）がある。

#### ・コドモンを用いた保育計画に関して

コドモンを用いた保育をして2年目、慣れてきて使いやすくなったように感じる。保育日誌の中に「目標」「ねらい」を詳しく書いているが、保育者がそれぞれ個人で項目を書き足しているため差が出ているように感じる。形式が変えられるようであれば変えたい。年間カリキュラムは以前使用していたキッズリーより枠が大きく内容を詳しく書くことができている。反省部分を別紙に記入しなければならないのが改善点である。

#### ・保育の成果、次年度に向けた目標に関して

##### ○子どもの疑問に寄り添う

日々の中で疑問に思うことを保育者に質問することが増える中で、疑問に思う気持ちを受け止めできる限り答えていった。また、次の疑問や考えに繋がるような声掛けをし、保育者も知らない物事は一緒に調べていった。

##### ○自然と触れ合う機会を増やす

戸外散歩や行事を通して、昆虫や植物に触れ興味をもてるようにした。保育者は昆虫や植物の知識を学び、注意点を確認することで安心して触れ合える環境作りをした。

<次年度目標>

- SDGsを意識し様々な素材に触れられる遊びを取り入れる
- 探究心を刺激できる活動を行う
- 満ち足りた保育が提供できるよう、スキンシップを大切にし情緒が安定して過ごせるようにする

### 3. 園としての自己評価に関して

#### ・当社（全園共通）の保育理念に関して

保育理念を理解し子どもたちと接することができたように思います。生活習慣を整え安心して過ごせるようカリキュラムを組んでいきました。お昼寝の時間をしっかり確保できるよう、主活動の内容を調節しています（その日の天気も踏まえて臨機応変に）。生活の

基盤をしっかり育てていくことで、健全な成長・心身の発育につながっていくようお願いながら保育をしています。今後も「満ち足りた保育」が提供できるよう、安心できる環境を整えていきたいと思っています。

・当園の保育目標に関して

昨年度・今年度共に0歳児が入園しなかったため、1歳児・2歳児の人数に変動があり1クラスの人数が多かったです。保育者の手が足りない部分も確かにありましたが、昨年度に次年度目標に設定した「愛情を持って接し自己肯定感につながる保育」は保育者全員が心に刻みながら日々を過ごせたと思っております。こちらに関しては、基盤となる大切なスローガンとして新しく入職した保育者も含めた全員が日々意識していきたいと考えています。「裏紙や資源を生かした保育」は普段から裏紙や段ボール等を使用した遊びを行なっているため、次年度も引き続き保育に取り入れていきたいと思っています。「各家庭の事情に寄り添った保育」昨今、様々な事情を抱えたご家庭が増えつつあります。子どもたちの成長を見守るだけでなく、保護者の皆さまの気持ちにも寄り添いながら日々保育を行っております。子どもの成長について気になること、おもしろかったこと、不思議なこと、そして保護者の方自身の悩み・・・全てに対応ができるわけではありませんが、少しでもお力になれば幸いです。何かございましたらいつでもご相談ください。

保護者アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

来年度もどうぞよろしく願いいたします。

アルタベビー田無園 黒川美由紀